

L P ガス C P 情報(2013年9月積み)

1. 9月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 850^{ドル} (前月比 +30^{ドル})ブタン 875^{ドル} (前月比 +55^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、月前半はラマダン、ラマダン明け休暇で市場は閑散、アブダビがスポットをディスカウントで販売したため第2週までCP先物市況は軟化した。産ガス国のスポット供給はサウジ、アブダビ等に余裕があったが、ガス分離プラントの稼働が停止したタイからの引き合いがあり市況は堅調に推移、第3週以降はエジプト、シリア情勢の緊迫化など原油の急騰を受けてLPガス市況も急騰した。第4週にはアラムコのFOBスポットがプロパン、ブタン(22:22 9月上旬積み) 835^{ドル}:863^{ドル}で販売され、また、CP先物市況はプロパンで836~841^{ドル}どころとなっていたが、最終週の原油急騰も加味された形か。一方、ナフサは直近で965^{ドル}、月間平均で前月比25^{ドル}の上昇、ブタン高プロパン安を演出した。フレート市況はFOBスポットとアクセプタンスの関係により高値で推移した。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン0.3ポイント、ブタン3ポイントの上昇、前年同月比ではプロパン11、ブタン4ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	76.3	76.6	75.1	78.7	76.7
CP先物指標:P	812	799	849	836	824
CP先物指標:B	812	804	874	856	837

② 原油市況等

原油市況をみると、8月のWTIは107^{ドル}、ドバイ105^{ドル}台でスタート。米国量的緩和の早期縮小を巡り一喜一憂する展開のなか、エジプト等中東情勢の悪化による地政学的リスクが下支えし、米国原油在庫の急減(クッシング在庫は8週連続、ピークから3割減)などにより堅調に推移した。最終週にはシリアの化学兵器使用に対する米英仏の懲罰的軍事介入が現実味を帯びエネルギー市況が急騰、WTIは2011年5月3日以来の110^{ドル}台となった。一方、商品市場には投機資金が流入、WTIの建玉(総取組高)は13日に193万枚の過去最高を記録、大口投機玉ネット買い越しは35万枚と最高水準を維持した。

○8月積みアラビアンライト(8月1~28日まで)は108.51^{ドル}(前月比+3.48^{ドル})熱量等価AL100% プロパン889.69^{ドル/トン} ブタン877.48^{ドル/トン}

AL比 プロパン95.54% ブタン99.72%

2. 2013年9~10月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	98.89	84,057	86,529	+2,400	+4,800
26~25日②	98.89	82,600	83,800	+1,200	+2,700
1~31日③	98.82	82,000	82,800	+1,000	+2,200
1~31日④	98.85	82,500	83,800	+1,100	+2,700

*TTS平均は①が8月16日~8月29日まで、②は7月26日~8月25日

③は8月1~29日、④は8月1~30日、①は10月仕切への影響、②~④は、9月仕切適用。③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。